



筑紫野市男女共同推進センター

センターニュースは、令和4年度より年6回の発行となりました。



ら〜ふるニュース vol.1



男女共同推進センターになりました。

筑紫野市女性センターは、今年度より「筑紫野市男女共同推進センター」に名称変更しました。

女性の人権や男女共同参画に関する問題については、女性だけではなく、男女が共に考え、一人ひとりが主体として取り組むことが大切です。また、さまざまな困難や生き辛さを抱える人が、性別にかかわらず、誰でも安心して相談できる場が必要とされています。

すべての人が自分らしく生きる喜びを実感できる社会の実現に向け、この春「男女共同推進センター」がスタートしました。情報発信、セミナーやイベント、相談や交流など、これからも男女共同参画推進の拠点として、さまざまな取組みをすすめていきます。

センターの愛称が決定 !!

らーふる



意味:「らーふ(laugh)」「(英語で「笑う」「笑い声」の意)」「ふる(full) (満ちる、満ち溢れるなどの意) 男女共同推進センターが市民の笑顔が満ちあふれる場となることを願った愛称です。

筑紫野市女性センターから男女共同推進センターに名称を変更するに伴い、センターの愛称を募集しました。長年にわたり、筑紫野市の男女共同参画の推進力として活動されている男女共同参画プラザ活動登録団体連絡会の皆さんと考えた結果、「らーふる」に決定しました。男女共同推進センターが、より多くの市民の方に、親しまれ、名前の通り、笑顔あふれる、市民の集いの場となることを願います。



男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査結果がまとまりました。

筑紫野市では、平成30年度からの10年間を計画期間とする「第3次ちくしの男女共同参画プラン」に沿って各課で男女共同参画の取組みを進めています。プランの中間年にあたり、市民の男女平等に関する意識や実態を把握し、今後5年間の効果的な取組みに繋げるために調査を実施し、この度、報告書が完成しました。

今回の調査では、「男は仕事、女は家庭」という考え方、いわゆる固定的性別役割分担意識について、反対派が女性では7割、男性は6割強を占め、前回調査(平成28年)と比較し、世代間の違いは見られるものの意識の変化がみられました。市民意識調査のテーマ項目別の結果については今後のセンターニュースでも随時紹介していきます。調査にご協力頂いた市民の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

尚、詳しい調査結果は、筑紫野市のホームページに掲載しております。

市民意識調査に関するホームページはこちらから



セミナーのご案内!

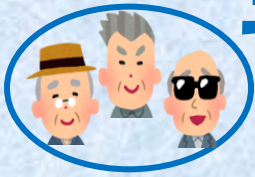
《令和4年度 ファミサポ学習会》

《共催》子育て支援課、人権政策・男女共同参画課

ちくしの大切な子どもたちを世代を超えたみんなで育てていこう!

三世代でのより良い関係作り!!

～ゆるっと育(イク)ジイ始めませんか?～



「育(イク)ジイ」とは…孫や地域の子育てに積極的に参加する男性のこと

今年度の育ジイ養成講座は、子育て支援課と共催し、ファミサポ学習会の一環として開催します。

「孫や地域の子供達と遊んでみたい!」、「パパママたちとの関わり方が難しい!」

そんな思いを持つ男性に向けた講座です。

孫がいる人もいない人も、これからの育(イク)ジイについて学んでみませんか?

対 象:育児に関心を持つ祖父世代の男性(ご夫婦でのご参加も可)

◆ この講座は祖父世代のほか、パパママ世代の参加も受け付けています

定 員:30名 参加無料

託児有り:無 料 生後3ヶ月～就学前まで 申し込みが必要です。(5/6(金)締切)

日時・場所	内容・講師等
5月13日(金) 9:30～12:00 場所:筑紫野市生涯学習センター 視聴覚室	・「三世代でのよりよい関係作り!! ～ゆるっと育ジイはじめませんか～」 講師:山根佑介さん(NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州) ・簡単あそび紹介(育ジイネット)



<申し込み・問合せ先>ファミリー・サポート・センターちくしの Tel/Fax 092-921-1396
メールアドレス spcc6sm9@herb.ocn.ne.jp ◆申し込み・お問合せは、裏面をご覧ください。



セミナーの報告 性や命の大切さを学びました



3/19 家庭教育公開講座 産婦人科医から伝えたいこと 2022 version



《講師:中並 博美さん》



《講演会の様子》

生理について語られることが増えたなか、青葉レディースクリニック 産婦人科医の中並博美さんに講演していただき、中学生をはじめ、幅広い年代の方々が受講されました。

女性の心と身体は、生命の誕生～更年期に至るまで、ライフステージの変化に伴い、様々な変化を生じます。生涯にわたり女性をケアする産婦人科をもっと気軽に受診すること、自分自身・パートナーを尊重し、向き合うことの大切さを学びました。

普段なかなか聞きづらい、性や更年期についての話が聞いて良かった、性について正しい知識を持つ必要性を実感しました等の感想をいただきました。

